

アメリカ・ミシガン州駐在員便り

2009/12/07 駐在員： 宮村 佐衣子

【バイオ企業訪問】

先週は滋賀県の環境測定・分析企業の方々がミシガン州のバイオ企業、ミシガン州農業局を視察に来られましたので随行しました。訪問先のバイオ企業は、州都ランシングに本社をおくネオジェン社です。同社はバイオ技術を活用した検査関連機器製造業でナスダックにも上場している成長企業です。今年の4月に、ネオジェン社のポール・佐藤副社長が長浜バイオ大学で講演されたことがきっかけで、今回の訪問に至りました。

ランシング市には約1,800の企業があり、主要な産業は、自動車産業ですが、発展している分野としては、保健衛生関係（病院）、防衛関係、先端技術（バイオ）関係があります。防衛関係では装甲車（戦車）の部品の製造、炭ソ菌のワクチン開発といったものもあるそうです。

ネオジェン社では「食の安全」「動物の健康」にかかる試験研究に力を入れており、製品は海外へも輸出もされています。アメリカでは1年間に国民の4人に1人が食中毒にかかり、5,000人が死亡しているとの報道があり、食の安全に対する需要は高まっています。

ネオジェン社の製品にATP（アデノシン三リン酸）テスターがありますが、これは佐藤氏の開発によるものだそうで、物質の表面の清浄度を簡単に測定できる機械です。菌に含まれるATPを発光試薬と混ぜて反応・発光させ、その場で発光量を測定することで視覚的に菌量の大体の数字を知ることができます。滋賀県でもこの仕組みを利用したATPテスターが保健所や食品工場で日常の自主的衛生管理に使用されているようです。

なお、佐藤氏は2009年いっぱいネオジェン社を引退されますが、ランシング地域で今後も活動を続けられ、引き続き滋賀県との交流にご協力くださいます。

（写真は先週のミシガン州議事堂）

